

雇用契約を完全に電子化している企業は約 2 割、 一部導入を含めると 57.6%の企業が電子化済み！ 電子化した企業では 54.1%が業務削減の実感あり

企業文書を電子化・ペーパーレス化するクラウドサービス paperlogic® を展開するペーパーロジック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：横山 公一）は、東京に本社がある企業の人事部門へお勤めの方 106 名を対象に実施した「雇用契約の電子化」に関するアンケート調査の結果を発表しました。

■「雇用契約の電子化」に関するアンケート調査

調査概要：「雇用契約の電子化」に関する意識調査

有効回答：東京に本社がある企業の人事部門へお勤めの方 106 名

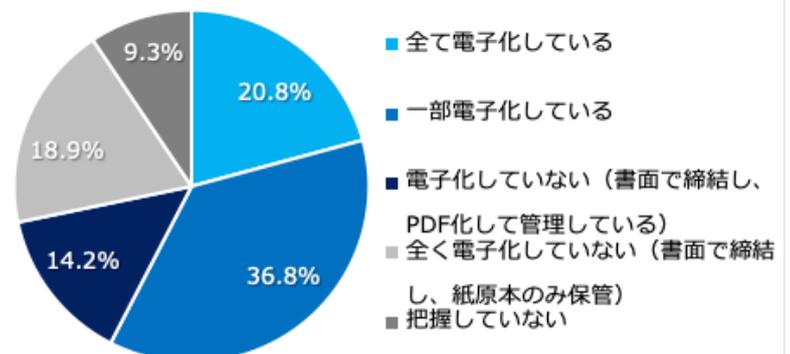
調査期間：2019年9月20日～2019年9月22日

■雇用契約を完全に電子化している企業は 20.8%

最初に「あなたの会社は雇用契約の契約書を電子化していますか？」と（n=106）と質問したところ、「全て電子化している」が 20.8%、「一部電子化している」が 36.8%と、半数以上の企業が雇用契約書を電子化していることがわかりました。

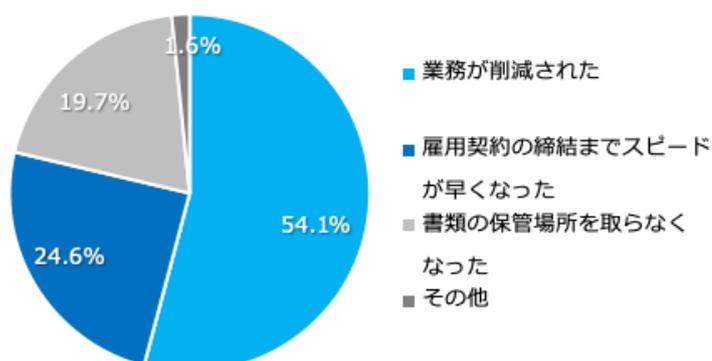
- ・全て電子化している：20.8%
- ・一部電子化している：36.8%
- ・電子化していない（書面で締結し、PDF化して管理している）：14.2%
- ・全く電子化していない（書面で締結し、紙原本のみ保管）：18.9%
- ・把握していない：9.3%

Q1. あなたの会社は雇用契約の締結方法およびその契約書そのものを電子化していますか？ただし書面で締結したものを「PDFなどファイル化して保存」する場合は電子化の対象外となります。



■54.1%が電子化により「業務の削減」を実感

Q2. Q1で「全て電子化している・一部電子化している」と答えた方にお聞きます。どのような効果がありましたか？最も当てはまるもの一つお選びください



次に Q1 で『全て電子化している』『一部電子化している』と回答した方に、「Q2.どのような効果がありましたか？」（n=61）と質問したところ、「業務が削減された」が 54.1%、「雇用契約の締結までのスピードが早くなった」が 24.6%と、導入のメリットを感じている方が多くいることが判明しました。

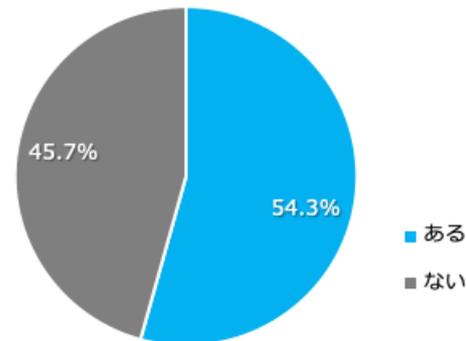
- ・業務が削減された：54.1%
- ・雇用契約の締結までのスピードが早くなった：24.6%
- ・書類の保管場所を取らなくなった：19.7%
- ・その他：1.6%

■「雇用契約の電子化を検討したことがない」は半数近い45.7%

次に、Q2で『電子化していない』『全く電子化していない』と回答した方に、「Q3.雇用契約の電子化を検討したことがありますか?」(n=35)と質問したところ、54.3%の人が「ある」、45.7%の人が「ない」と回答。検討したことがない企業が半数近いことが判明しました。

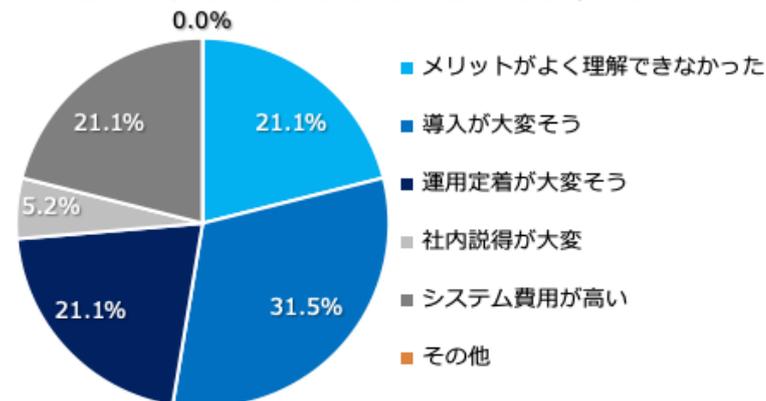
- ・(検討したことが) ある : 54.3%
- ・(検討したことが) ない : 45.7%

Q3. Q2で「電子化していない・全く電子化していない」と答えた方にお聞きします。雇用契約の電子化を検討したことがありますか?なお、検討の度合いは問いません。



■導入をあきらめた理由は「導入が大変そう」が最も多い31.5%

Q4. Q3で「雇用契約の電子化の検討をしたことがある」と答えた方にお聞きします。導入まで至らなかった理由で最も当てはまるものを教えてください。



さらに、Q3で『検討したことがある』と回答した方に、「Q4.導入まで至らなかった理由」(n=19)を質問したところ、「導入が大変そう」が最多で31.5%、次いで「メリットがよく理解できなかった」「運用定着が大変そう」「システム費用が高い」が同率で21.1%という結果になりました。

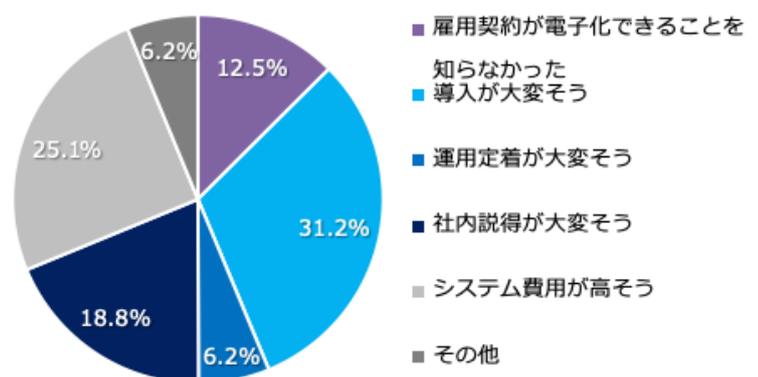
- ・メリットがよく理解できなかった : 21.1%
- ・導入が大変そう : 31.5%
- ・運用定着が大変そう : 21.1%
- ・社内説得が大変 : 5.2%
- ・システム費用が高い : 21.1%
- ・その他 : 0.0%

■電子化を検討したことがない理由も「導入が大変そう」が最も多い31.2%

加えて、Q3で『検討したことがない』と回答した方に「Q5.検討したことがない理由」(n=16)を聞いたところ、「導入が大変そう」が最多で31.2%と、検討したことがある企業が導入まで至らなかった理由と同じと判明。電子化に対する感じ方が同じということがわかりました。

- ・雇用契約が電子化できることを知らなかった : 12.5%
- ・導入が大変そう : 31.2%
- ・運用定着が大変そう : 6.2%
- ・社内説得が大変そう : 18.8%
- ・システム費用が高そう : 25.1%
- ・その他 : 6.2%

Q5. Q4で「雇用契約の電子化の検討をしたことがない」と答えた方にお聞きします。検討したことがない理由で最も当てはまるものを教えてください。



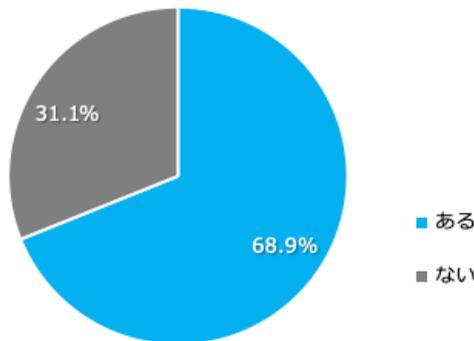
■雇用契約の電子化に興味はある、68.9%

次に、Q1で『電子化していない』『全く電子化していない』と回答した方に、「Q6.雇用契約の電子化に興味は

Q6. Q1で「電子化していない・全く電子化していない・把握していない」と答えた方にお聞きします。雇用契約の電子化に興味はありますか？

ありますか？」(n=45)と質問したところ、**68.9%**の人が「ある」と回答。

- ・ある：68.9%
- ・ない：31.1%

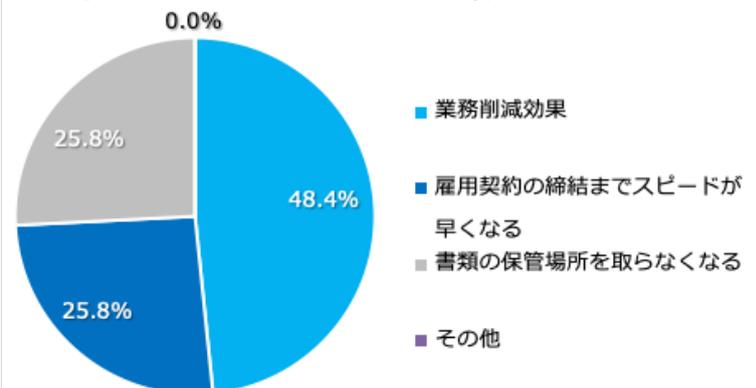


■ 業務削減を叶える電子化に期待

最後に、Q6で『興味がある』と回答した方に、「Q7.どの点に興味がありますか？」(n=31)と質問したところ、「業務削減効果」が最多で**48.4%**という結果に。働き方改革が叫ばれ、生産性向上が求められる中、電子化による業務削減は魅力的のようです。

- ・業務削減効果：48.4%
- ・雇用契約の締結までスピードが早くなる：25.8%
- ・書類の保管場所を取らなくなる：25.8%
- ・その他：0.0%

Q7. Q6で「雇用契約の電子化に興味がある」と答えた方にお聞きします。どの点に興味がありますか？最も当てはまるものをお選びください。



■ まとめ

今年4月に労働基準法施行規則が改正され、「労働条件通知書」の書面交付が電子メールなどによる交付でも認められることに。これで雇用契約の完全電子化の実現が可能となりました。改正から半年が経ち、すでに2割の企業が完全電子化を実現し、業務の削減効果を実感しているようです。

生産性向上が求められる今、まだ電子化していない企業においても電子化による業務削減への期待があることが判明。「導入が大変そう」と感じている企業へ電子化のメリットと導入手順などを分かりやすく訴求する必要があります。

■ 会社概要

社名	: ペーパーロジック株式会社
本社所在地	: 東京都品川区東五反田一丁目6番3号いちご東五反田ビル3F
代表	: 代表取締役 横山 公一
設立	: 2011年4月27日
資本金	: 9億7,727万5千円(2019年6月18日現在)
事業内容	: 経理・総務・法務の領域で、法律で原本保管を義務付ける書類を完全にペーパーレス化(紙原本廃棄)するクラウドソリューションを提供しています。
コーポレートサイト	: https://paperlogic.co.jp/

【PRに関するお問い合わせ】

ペーパーロジック株式会社 PR事務局(株式会社ベイニッチ内)担当: 福澤・久保・佐藤
 TEL: 03-6447-4440 FAX: 03-6447-4442 E-mail: paperlogic@baynich.jp